

## 再意見提出フォーマット

再意見提出者	ルネサスエレクトロニクス株式会社 株式会社サイバー創研 東北大学
--------	--

## 意見募集において寄せられた意見に対する意見

No.	意見提出者	寄せられた意見に対する意見内容
40	クアルコムジャパン株式会社	No. 40のご意見の「(2) (2. 2) (iii) ITS : 現在予定されている715-725MHzへの割り当てを見直す。国際的に広く使われている5. 8-5. 9GHz帯への移動を検討する。車車間通信用割り当てについては、1GHz以下の空き周波数
58	日本エリクソン株式会社 ノキアシーメンスネットワークス株式会社 ノキアジャパン株式会社 ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社	(例:900MHz帯) への移動も一案である。ITSの715-725MHzの割り当ては隣接予定のIMTや放送との共存条件がいまだ十分解決されていないと仄聞する。」 また、 No. 58のご意見の「(2) (iii) ITS:現在予定されている715-725MHzへの割り当てを見直す。国際的に広く使われている5. 9GHz帯への移動を検討する。車車間用割り当てについては1GHz以下の空き周波数(例900MHz帯) への移動も一案である。」
49	UQコミュニケーションズ株式会社	No. 49のご意見の「(4) 現在の2. 5GHz帯周波数は屋外基地局からの屋内浸透による屋内カバーには限界があり、また、今後は郊外地域や不採算地域でのエリア拡大が主となるため効率的なエリア選定、エリア設計が必要になることから、屋内浸透に優れ、効率的な基地局配置が可能である700MHz帯をBWA(TDD)方式でも利用できるように割り当て頂きたいと考えます。」
17	ルネサスエレクトロニクス株式会社 株式会社サイバー創研 東北大学	とのご意見に関して、以下の意見を提出いたします。 2015年から2020年ごろのワイヤレスモバイルネットワークは、①大容量の伝送を行う情報系を中心としたネットワークと、②エコを目指した低遅延で高度なフィードバック制御機能を実行するためのネットワークが並存すると考えられます。さらに、③車車間・路車間での高速移動体サービス事業とのリンクも必要となります。 ①はLTEで達成されようとしていますが、②に関しては低炭素社会構築のために、スマートグリッド/スマートコミュニティを目指して、電気自動車(EV)の走行状況や電池の充電状況をリアルタイムで把握して、充電ステーションから電力供給系統へ低遅延で効率良く還元することが必要です。さらに③は、道路や交差点の混雑状況、事故状況、公共車両内の混雑状況等の映像を車車間で共有することで安全安心のためのパブリックセーフティの要求も満足できます。 このためのシステムは、国際標準化が進められているmachine to machineでのコンピュータ間制御に適すると考えられる狭域の通信(たとえばWAVE)と、広域の通信(たとえばWiMAX)をシームレスに融合した通信システムが必須と考えられます。

		<p>このためには、700MHz帯は電波の回折効果が期待できる条件は交差点での見通し外の車車間、歩車間通信の接続品質の要求条件を満足させるための必須の条件で、かつ今後の電気自動車の普及に伴いV2G (Vehicle to Grid) による電力供給の安定化がCO2削減の有力な手段となりえます。</p> <p>以上から、現在予定されている 715-725MHz への ITS 応用をカバーしつつさらに 770MHz 帯までを BWA (TDD) 方式でも利用できるように割り当て、715-725MHz への ITS と TDD でコモナリティを確保できるよう割り当てたいと考えます。</p>
--	--	---